

# 第2回病院連絡会結果の概要①（大阪市二次医療圏）

資料3

## 1 第2回病院連絡会の参加状況と病院プラン等<sup>※1</sup>の提出状況

【第2回医療・病床懇話会資料】

保健所名	公立・公的・民間等	対象 <sup>※2</sup> 病院数 (A)	出席病院数 (B)	参加率 (B)/(A)	病院プラン提出病院数 (C)	提出率 (C)/(A)	病院プラン調査未提出病院 (第2回病院連絡会開催時点)
北部基本医療圏	公立	2	2	100.0%	2	100.0%	
	公的	5	4	80.0%	5	100.0%	
	民間等	29	21	72.4%	25	86.2%	神原病院、明德病院、貴生病院、淀川若葉会病院
	合計	36	27	75.0%	32	88.9%	
西部基本医療圏	公立	0	0		0		
	公的	4	4	100.0%	4	100.0%	
	民間等	23	16	69.6%	20	87.0%	首藤病院、大場内科病院、名取病院
	合計	27	20	74.1%	24	88.9%	
東部基本医療圏	公立	1	1	100.0%	1	100.0%	
	公的	5	5	100.0%	5	100.0%	
	民間等	57	38	66.7%	48	84.2%	高津病院、聖バルナバ病院、西下胃腸病院、外科野崎病院、新協和病院、三和病院、生野中央病院、関目病院 牧整形外科病院（病院プラン対象外）
	合計	63	44	69.8%	54	85.7%	
南部基本医療圏	公立	1	1	100.0%	1	100.0%	
	公的	2	2	100.0%	2	100.0%	
	民間等	45	35	77.8%	43	95.6%	東和病院、松井記念病院
	合計	48	38	79.2%	46	95.8%	
合計	公立	4	4	100.0%	4	100.0%	
	公的	16	15	93.8%	16	100.0%	
	民間等	154	110	71.4%	136	88.3%	
	合計	174	129	74.1%	156	89.7%	

※1:公的医療機関等2025プラン、新公立病院改革プランにかかる補足調査、将来に向けた病院のプランに関する調査

※2:病院連絡会の対象は、病床機能報告対象病院

## 第2回病院連絡会結果の概要②（大阪市二次医療圏）

### 2 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）・病床機能分化の方向性に対する見解

- 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）について、病院連絡会において認識の共有を図った。
- 各グループでは、以下のような意見が出された。
  - ・ 公的病院と民間病院では立場が違うので、役割分担を図るべきであり、医療構想を進める上でその点を考慮すべきである。
  - ・ 病院連絡会での病院のデータ提供は必要と考えるので、これからも継続したデータ提供と、そのフィードバックをお願いしたい。
  - ・ 日頃から病院間の連絡連携はとれているので、区単位ではなくもっと広域での病院が集まる場も検討してほしい。
  - ・ 大阪方式について、具体的に示してほしい。
    - 必要な機能別病床は、比率なのか絶対数なのか。ブロックで考えるのか市で考えるのか。
    - 基準は基準病床数なのか既存病床数なのか。
    - ⇒ 本件については、連絡会当日、大阪府より説明した。

#### ● 2025年に向けた各病院の病床機能転換検討状況総計（大阪市二次医療圏）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	102	33	0	0	135
公的	▲ 303	279	13	0	▲ 11
民間等	491	▲ 684	242	▲ 195	▲ 146
合計	290	▲ 372	255	▲ 195	▲ 22

## 第2回病院連絡会での各グループごとの意見

グループ	区の課題や特徴	病病連携・病診連携	病院の統合や移転、法人内連携
西部	A 福島区 此花区 西淀川 区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の病院がお互いに連携しながら、医療機能を補完している。（※JCHO大阪病院と関西電力病院は距離的に近いという地域特性を生かし、お互いに補完しながら診療している。※西淀川区では千船病院と西淀病院とが役割分担している。）</li> </ul>	
	B 西区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替えが進んでいる状況もあり、病床機能は当面現状のままと考えている病院が多い。</li> <li>・（意見）西区は子供の数が増えているので、小児科のニーズが増えていくと考える。</li> <li>・（意見）災害拠点病院としてカバーできる病院を増やしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人グループ（きっこう会）の中で、機能分化を行っており、多根総合病院は急性期を担っている。</li> </ul>
	C 港区 大正区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（意見）大阪みなと中央病院の移転に伴い、駅前なので、地域の住民だけでなく勤務者も受診してくる可能性がある。病院機能の変化を見ていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（意見）慢性医療を担う医師の確保が難しく、急性期での医療がその後の療養環境に影響を与えるので、全人的な医療が必要である。</li> <li>・（意見）在宅看取りを含めた在宅医療の24時間体制に対しては、病院としての何らかの支援を考える必要がある。</li> <li>・（意見）在宅医療の24時間対応は、訪問診療専門の診療所に任せの方がいい。</li> <li>・（意見）効率的な病院経営のためには、救急や診療科については集約化し、役割分担（救急では輪番制）を図っていく必要があるのではないか。</li> </ul>